

令和6年度 第1回 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会 会議録

- 1 日 時 令和6年8月2日（金） 15時から17時
- 2 場 所 さいたま市大宮盆栽美術館 2階 講座室
- 3 出席者 (1) 委員（9名）（委員長以下五十音順）
小島孝夫委員長、池田伸子委員、砂生敏一委員、杉山正司委員、
高嶋修一委員、谷中智恵子委員、松澤純一委員、三輪史委員、森紀与子委員
(2) 欠席委員
大和田昌宏副委員長
(3) 事務局
スポーツ文化局 鶴田局長
文化部 川田部長
大宮盆栽美術館 清水館長、山田盆栽振興アドバイザー、金子副館長、
松野係長、田口係長（学芸員）、菅原主査（学芸員）
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内 容
(1) 開 会
(2) 挨拶 スポーツ文化局長
(3) 報 告
・令和5年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について 【資料1】
・令和6年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について 【資料2】
・盆栽庭園池のリニューアルについて 【資料3】
(4) 議 事
・令和7年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について 【資料4】
(5) その他
(6) 閉 会

<議事内容要約>

報告 令和5年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について

事務局から資料1について説明。

事務局 報告事項についてご質問等ありますでしょうか。

委 員 展覧会事業の6番目の下「さいたま国際芸術祭2023 市民プロジェクト」や7番目「企画展 第32回 作家展（日本盆栽作家協会）」及びその下「日本盆栽協会特別展示「貴重盆栽展」」は来館者が多いが、なにか特徴がありますか。

また、「ゆかた de 盆美」について、来館者がどこからきているかアンケートなどで聞いていますか。

事務局 さいたま国際芸術祭については、大宮で開催された芸術祭会場から流れて比較的若い人が多く来館された印象を持っています。「貴重盆栽展」につきましては、日本盆栽協会の関係者の方も多くご来館いただきました。また、11月から12月にかけてライトアップを行っておりましたので、来館者数の増加につながったものと考えております。
「ゆかた de 盆美」については、全員ではないですがアンケートを取ったところにより

ますと、SNS などが発信しているため、市内だけでなく、広域的に来館されております。

報告 令和6年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について

事務局から資料2について説明。

事務局 報告事項についてご質問等ありますでしょうか。

委員長 事業数が多く、学芸員に負担がかかっていませんか。

事務局 学芸員が2名と、学芸員資格を取得している一般職員として採用された職員が2名の4名体制で対応しています。

委 員 調査研究活動で資料が多く集まっているということですが、収蔵スペースはどういう状態でしょうか。また、特別展に関連して内容に立ち入ったことをお尋ねしますが、明治時代初期に流行った万年青は盆栽として今回の特別展の対象になるのでしょうか。

事務局 当館の収蔵庫に関しましては、植木鉢、水石、盆栽の卓を収蔵する大きなスペースと、紙物資料を収蔵するスペースと、収蔵スペースは2つに分かれております。収納率に関しましては、紙物資料のスペースは8割程度、大きなスペースは大宮盆栽村開村100周年事業に関する資料等により100パーセントを超えてしまっている現状です。棚はまだ増設する場所が残っておりますので、その棚を増設して作業スペースを空けていく余地はあります。

万年青は、今回の特別展の対象となっており、江戸時代の文献では盆栽及び鉢植えの両方の記載があります。

委 員 収蔵スペースの拡張は考えていませんか。

事務局 ほかの博物館や美術館と合わせて、全市的に収蔵スペースの検討をすることも効果的と考えております。

委員長 収蔵施設については、個々の館で管理する方法と自治体単位でまとめて管理する方法がありますが、千葉県では一か所にまとめて収蔵する検討が始まっているようです。

委員長 特別展において、図録を作成できるのですね。

事務局 今年度の特別展に関しましては、A4版横型の図録の作成を進めているところです。

委員長 来年度の特別展に向けての調査研究活動として、盆栽及び盆栽文化を文化財としてどう位置付けるか、大宮盆栽美術館としても課題だと考えます。大宮盆栽村開村100周年に向けて文化財指定をさいたま市として議論していただいた方が良いと考えます。

事務局 文化財の指定につきましては、教育委員会で地域計画等を作成しております。スポーツ文化局としましても、教育委員会と連携し進めていきたいと考えております。

委 員 盆栽村は、近代都市としての埼玉県の成り立ちを考える時に非常に重要な地区で、街並みを残していく必要があると考えております。盆栽村の価値をどう評価して定義付けて発信していくのか、さいたま市に取り組んでいただきたいと思います。

委 員 盆栽村を文化的景観という文化財のカテゴリーで進めてもよいのではないのでしょうか。川口市の安行でも進めていたので、ノウハウのある川口市の教育委員会に確認してはいかがでしょうか。

報告 盆栽庭園池のリニューアルについて

事務局から資料3について説明。

委員長 報告事項についてご質問等ありますでしょうか。

委員長 企画提案した業者は何者ありましたか。

事務局 提案者につきましては 1 者となります。提案条件としました、石の調達や加工ができる優れた業者が市内に少なかったようです。

委員長 プロポーザルの審査委員の中に、さいたま市文化財保護審議会の委員はいらっしゃいますか。

事務局 おりませんでした。

委員長 池のリニューアルにおいて、庭園温度低下や湿度維持等の科学的知見の確認はどのように行ったのでしょうか。

事務局 プロポーザルの審査委員は、庁内の関連部署の所属長が審査にあたりました。環境配慮の面については、都市公園課やみどり推進課が委員として入っております。また、提案業者からは、リニューアルにあたっての温度低下や湿度上昇に関するデータを提供していただいております。

委員 リニューアル期間中は、11 月から 3 月頃まで休館ということですが、具体的な日にちは、これから事業者さんと調整していくということでしょうか。

事務局 おっしゃる通りです。まだデザインや使用する素材等も未定なので、今後調整していきます。

委員 休館期間中は、美術館は全く事業を行わないのでしょうか。例えば特別講座とか学校連携など、できることはやっていくのでしょうか。

事務局 展覧会や普及事業は開催できませんが、国際盆栽アカデミーについては、休館期間中も実施する方向で計画をしております。

委員 前回の運営委員会で 2 月の国風展の際は開館できないか議論がありましたが、やはり 3 月まで休館となりますか。

事務局 今のところ 3 月 10 日までが工期となっております。その後、開館にむけて準備していきます。

委員 庭園の動線について、効率よく回れる来館者視点を大切にしてほしいです。

事務局 今回のリニューアルにおいては、盆栽を守る視点もありますが、来館者の方にも快適に鑑賞していただける環境も整えていければと考えております。いただいたご意見も踏まえながら、デザインを確定できればと思っております。

委員 11 月 14 日の県民の日も、休館になるということでしょうか。

事務局 デザインが決まってないので、具体的な休館日は決まっていないですが、11 月中旬となると休館の可能性が高いと思われます。

委員 湿度や温度については、数値で条件を示して企画提案をしていただいたのでしょうか。

事務局 根拠資料の提出も求めました。例えば、気温低下につきましては、採用するミストシャワーですと 2m の範囲で-4 度の気温低下が期待できる、というような根拠資料を提案していただきました。

委員 その条件が達成されなかった場合どうなるか、契約条件に含まれていますか。

事務局 今のところはそこまでは盛り込んでおりません。

事務局 庭園池のリニューアルについては、国内のみならず、世界中から訪れる来館者に日本の盆栽及び盆栽文化を発信する好機として取り組んでいきたいと考えております。

委員長 池のデザインを確定する前に、東京文化財研究所への相談をご検討ください。

議事 令和7年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について

事務局から資料4について説明。

委員長 令和7年度大宮盆栽美術館展覧会事業等についてご意見等ありますでしょうか。

委員長 普及事業の「子ども向けワークショップ」と企画展「夏休み子どもぼんさい美術館」との来館者の関連はいかがでしょうか。

事務局 「子ども向けワークショップ」の終了時に、企画展のご案内をしています。「夏休み子どもぼんさい美術館」という企画展は、受付で学習ノートという子供さん向けのノートを配っており、ノートを利用して企画展を見ると申告いただいた方は、入館料を無料にしております。ですので、ほとんどすべての方がワークショップ終了後に企画展に参加していただいております。

委員 インターナショナルギャラリーガイドについて、参加人数はどれくらいでしょうか。

事務局 受付と連携し、来館者にお声掛けをして開催していますので、数十人といった大規模ではなく、少人数で開催しております。

委員 外国人来館者の人数はどのように把握していますか。

事務局 受付で外国人来館者にお声掛けし、国名まで確認しております。

委員 子ども向けワークショップについて、人気だともっと回数を増やすよう要望等もあると思いますが、質を落とさないことがリピートにもつながると思います。ワークショップ参加者は近隣の方が多いですか。

事務局 近隣の方が多いですが、中には都内や近隣県の方もいらっしゃいます。

委員 インターナショナルギャラリーガイドについて、来館者の盆栽に対する知識レベルが異なると思いますが、どのように対応していますか。

事務局 対応している国際交流員は、盆栽美術館に配属されてから盆栽の知識を学びました。今では知識レベルも向上しており臨機応変に対応しております。海外のプロの盆栽家の方を相手に説明した時もあったようです。

委員 令和7年度の開村100周年事業の山場はいつごろになるのでしょうか。

事務局 100周年事業はスポーツ文化局と経済局で連携して実施していきます。山場は、春先や秋になりますが、一年を通じて情報発信していければと考えております。

委員 日本の誇れる伝統文化である盆栽を子どもたちに伝えていく場、ボランティアが知識や経験を発揮できる場として、盆栽美術館はあり続けてほしいです。